



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 札

上場会社名 株式会社 ほくやく・竹山ホールディングス

コード番号 3055 URL <http://www.hokutake.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 眞鍋 雅昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 経営管理統括本部副部長 (氏名) 巖 友弘

TEL 011-633-1030

四半期報告書提出予定日 平成23年11月10日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (取引先・金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	99,847	1.3	523	△28.3	940	△10.0	459	△39.6
23年3月期第2四半期	98,571	2.8	729	9.6	1,044	3.5	761	102.4

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 441百万円 (21.6%) 23年3月期第2四半期 362百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	18.30	—
23年3月期第2四半期	30.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	102,197	37,989	37.2	1,512.54
23年3月期	103,492	37,698	36.4	1,500.97

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 37,989百万円 23年3月期 37,698百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
24年3月期	—	6.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,000	0.9	1,000	△3.8	1,700	0.6	850	3.0	33.84

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	25,976,221 株	23年3月期	25,976,221 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	860,086 株	23年3月期	859,886 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	25,116,230 株	23年3月期2Q	25,145,818 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現時点で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響を受けた企業活動や個人消費に一定の回復が見られたものの、長引く円高や世界経済の減速懸念から、景気先行きは引き続き不透明な状況にあります。

当社グループでは、「ホールディングスはひとつ」を合言葉に、各事業の強化はもとより、事業間連携によるお得意先の利便性の向上などを目的とした活動を行うことで、地域におけるワンストップサービスを提供できる総合ヘルスケア企業グループの実現を目指してまいりました。昨年の本社機能の集約以降、グループとして顧客支援機能の強化や管理業務の再構築への取り組みを強化してきております。7月には、株式会社ほくやくにおいて検査試薬や在宅医療部門の強化を目的としてメディカル営業本部を新設しました。また、9月末には子会社の株式会社アドウィックが医療機関向け電子カルテの開発・販売を行っている株式会社H Q Fと業務提携契約を締結し、医療機関へのIT基盤構築の提案および支援を新しい事業として推進いたします。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、医薬品事業の市場価格が前年に引き続き厳しい水準で推移したことから、売上高998億47百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益5億23百万円（同28.3%減）、経常利益9億40百万円（同10.0%減）となり、四半期純利益につきましては4億59百万円（同39.6%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりです。

(医薬品事業)

医薬品事業におきましては、平成22年度薬価改定後の市場競争の激化により、厳しい市場環境が続いております。そのような中、当期におきましても生活習慣病用薬の堅調な伸びや抗癌剤、ワクチンなどを含む新薬の貢献もあり、売上面では増収で推移いたしました。しかしながら、利益面におきましては、新薬価制度（新薬創出・適応外薬解消等促進加算）の導入を背景とした医薬品個々の製品価値に見合った販売を推進しましたが、成果を上げるまでは至らず、販売価格の低下を招くこととなりました。その結果、売上高は786億70百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は53百万円（同85.8%減）となりました。

(医療機器事業)

医療機器事業におきましては、医療材料など消耗品は前年の売上げを若干上回り、また、医療機器・備品においても画像診断機器を始めとした買い替え需要などにより、全体の受注件数では前年を上回りました。しかしながら、当期は大規模医療施設の新築に伴う大型物件の受注が前年に比べて無く、東日本大震災の影響による機器供給不足も重なり、全体の売上では前年を下回ることとなりました。利益面におきましては、市場競争の激化による納入価格の低下傾向が依然続いており、拡販政策による営業活動を行ってまいりましたが、前年度並みの利益水準までは至りませんでした。その結果、売上高は188億80百万円（前年同期比5.1%減）、営業利益は1億65百万円（同16.9%減）となりました。

(調剤事業)

調剤事業におきましては、引き続き長期処方などによる処方箋枚数の減少要因はありましたが、前年開設店の貢献により処方箋枚数は増加し、新製品へのシフトなどによる処方箋単価の上昇も売上げ増加に寄与いたしました。また、経費削減効果も表れ、利益面で貢献いたしました。その結果、売上高は41億43百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1億79百万円（同73.3%増）となりました。

(介護事業)

介護事業におきましては、高齢化の進展により市場ニーズが多様化する中、福祉用具レンタル・販売ならびに住宅改修で、品揃えの充実や福祉用具導入後のフォロー（モニタリング）に努めました。また、営業員の増員・育成による提案力の強化もあいまって、売上・利益ともに堅調に推移いたしました。その結果、売上高は7億98百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益は87百万円（同3.2%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、たな卸資産の減少および仕入債務の減少等により、当第2四半期連結会計期間末には、173億24百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は7億61百万円（前年同期は25億5百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が9億28百万円（前年同期比3.0%減）、売上債権の増加20億61百万円（同8.6%増）、たな卸資産の減少13億円（同166.1%増）および仕入債務の減少16億78百万円（前年同期は26億36百万円の増加）によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は7億96百万円（前年同期は6億50百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の売却9億5百万円（同17百万円）、有形固定資産の取得67百万円（前年同期比85.1%減）および無形固定資産の取得66百万円（同56.7%減）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億3百万円（前年同期比16.0%減）となりました。これは主に、配当金の支払1億49百万円（同11.7%減）およびリース債務の返済53百万円（同24.0%減）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期におきましては、医療機器事業、調剤事業、介護事業はほぼ当初計画どおりで推移いたしました。が、医薬品事業におきましては市場価格が前年に引き続き厳しい水準での推移となっており、この傾向は第3四半期以降も続くものと予想されます。販管費は前年に比較して通期では2億円圧縮となる見込みであり、対売上比率でも当ホールディングス発足以来連続して低下しておりますが、利益の落ち込みをカバーするまでには至らず、営業利益、経常利益、当期純利益におきましては計画していた利益の確保が困難な見通しとなりました。よって、当第2四半期連結累計期間における業績の進捗状況を勘案し、平成23年5月19日に発表しました平成24年3月期の連結業績予想を以下のとおり修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成23年11月4日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あ た り 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	200,000	1,500	2,000	900	35 81
今 回 発 表 予 想 (B)	200,000	1,000	1,700	850	33 84
増 減 額 (B - A)	—	△500	△300	△50	—
増 減 率 (%)	—	△33.3	△15.0	△5.6	—
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期通期)	198,203	1,039	1,689	825	32 83

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項ありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,632	17,464
受取手形及び売掛金	43,720	45,879
商品及び製品	13,340	12,040
繰延税金資産	453	499
その他	5,170	4,712
貸倒引当金	△25	△29
流動資産合計	80,292	80,566
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,168	5,971
土地	6,667	5,746
その他（純額）	424	375
有形固定資産合計	13,259	12,092
無形固定資産		
のれん	152	92
ソフトウェア	1,126	980
その他	134	82
無形固定資産合計	1,413	1,156
投資その他の資産		
投資有価証券	6,979	6,921
長期売掛金	676	614
破産更生債権等	57	51
長期貸付金	203	173
繰延税金資産	108	120
その他	951	947
貸倒引当金	△451	△446
投資その他の資産合計	8,524	8,382
固定資産合計	23,198	21,631
繰延資産	1	—
資産合計	103,492	102,197

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	62,247	60,568
未払法人税等	149	486
賞与引当金	675	668
役員賞与引当金	57	49
返品調整引当金	45	41
その他	940	823
流動負債合計	64,116	62,637
固定負債		
繰延税金負債	442	456
再評価に係る繰延税金負債	165	162
退職給付引当金	245	252
長期未払金	579	466
資産除去債務	202	204
その他	41	28
固定負債合計	1,676	1,571
負債合計	65,793	64,208
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	12,756	12,756
利益剰余金	24,733	25,046
自己株式	△425	△425
株主資本合計	38,064	38,376
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	814
土地再評価差額金	△1,198	△1,202
その他の包括利益累計額合計	△365	△387
純資産合計	37,698	37,989
負債純資産合計	103,492	102,197

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	98,571	99,847
売上原価	91,041	92,791
売上総利益	7,529	7,055
販売費及び一般管理費		
荷造費	361	371
貸倒引当金繰入額	—	4
給料	2,958	2,843
役員賞与引当金繰入額	48	49
賞与引当金繰入額	698	593
退職給付費用	189	180
法定福利及び厚生費	515	528
賃借料	129	124
その他	1,898	1,836
販売費及び一般管理費合計	6,800	6,532
営業利益	729	523
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	89	96
受取事務手数料	177	188
不動産賃貸料	34	25
持分法による投資利益	18	21
その他	87	164
営業外収益合計	416	505
営業外費用		
支払利息	0	—
不動産賃貸原価	30	34
遊休資産諸費用	60	25
その他	10	28
営業外費用合計	101	88
経常利益	1,044	940
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	—	12
貸倒引当金戻入額	30	—
その他	1	—
特別利益合計	32	12

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別損失		
固定資産売却損	25	18
固定資産除却損	49	2
減損損失	—	3
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
その他	7	0
特別損失合計	120	24
税金等調整前四半期純利益	957	928
法人税、住民税及び事業税	858	501
法人税等調整額	△662	△31
法人税等合計	195	469
少数株主損益調整前四半期純利益	761	459
四半期純利益	761	459

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	761	459
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△398	△18
その他の包括利益合計	△398	△18
四半期包括利益	362	441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	362	441
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	957	928
減価償却費	527	532
繰延資産償却額	1	1
減損損失	—	3
のれん償却額	58	59
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△34	△1
受取利息及び受取配当金	△98	△104
支払利息	0	—
為替差損益 (△は益)	—	△0
持分法による投資損益 (△は益)	△18	△21
固定資産売却損益 (△は益)	25	18
固定資産除却損	49	2
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△12
会員権評価損	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,897	△2,061
たな卸資産の増減額 (△は増加)	488	1,300
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,636	△1,678
未払消費税等の増減額 (△は減少)	138	127
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	99	△7
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△55	△7
未収入金の増減額 (△は増加)	659	△124
預り金の増減額 (△は減少)	△15	△11
その他	△133	367
小計	3,390	△683
利息及び配当金の受取額	98	104
利息の支払額	△0	—
法人税等の支払額	△983	△182
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,505	△761

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△137	△137
定期預金の払戻による収入	137	137
有形固定資産の取得による支出	△455	△67
有形固定資産の売却による収入	17	905
無形固定資産の取得による支出	△154	△66
投資有価証券の取得による支出	△42	△16
投資有価証券の売却による収入	—	60
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△18	—
貸付けによる支出	△0	△20
貸付金の回収による収入	3	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△650	796
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△0	—
単元未満株式の売買による収入及び支出	△1	△0
配当金の支払額	△169	△149
リース債務の返済による支出	△69	△53
財務活動によるキャッシュ・フロー	△241	△203
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,612	△168
現金及び現金同等物の期首残高	15,141	17,493
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,754	17,324

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	73,531	19,718	3,888	742	690	98,571
セグメント間の内部売上 高又は振替高	2,723	167	6	4	1,230	4,132
計	76,254	19,885	3,894	746	1,920	102,703
セグメント利益	376	199	103	85	288	1,052

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	1,052
セグメント間取引消去	△247
のれんの償却額	△57
たな卸資産の調整額	△18
四半期連結損益計算書の営業利益	729

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					合計 (百万円)
	医薬品事業 (百万円)	医療機器事業 (百万円)	調剤事業 (百万円)	介護事業 (百万円)	その他 (百万円)	
売上高						
外部顧客への売上高	75,784	18,704	4,130	794	433	99,847
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,885	176	12	4	1,078	4,156
計	78,670	18,880	4,143	798	1,511	104,004
セグメント利益	53	165	179	87	365	851

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	851
セグメント間取引消去	△249
のれんの償却額	△58
たな卸資産の調整額	△20
四半期連結損益計算書の営業利益	523

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間において減損損失を計上しておりますが、金額が軽微なため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。